岡田コミュニティセンター敷地内に防災無線のスピーカーが整備されている。

岡田地区は起伏が大きい上に面積が広いため、サイレンはかろうじて聞こえても防災 丸亀市の放送は聞き取れない地域が存在する。たとえば、コミュニティセンターから 離れた打越地区、同じく土器川近くの成願寺地区や向王子地区、滝の鼻地区はほとん ど聞き取ることができない。

インターネット環境整っていない高齢者等にとっては、防災無線での呼びかけは重要である。

岡田地区は、土砂災害に警戒を必要とする場所も多いため、行政からの呼びかけが届かない地域が存在するのをそのままにしておくのは重大な問題である。

ひとたび線状降水帯が発生すると、災害の少ない丸亀市でも短時間のうちに災害に結び付く事態が発生することが予想される。

すべての地域に防災丸亀市の内容が伝わるよう、スピーカーの追加整備もしくは各家 庭に防災無線受信端末の整備を速やかに検討していただきたい。

(回答)

防災行政無線は、地形や気象状況、障害物などにより聞こえづらい地域もあることは認識しておりますが、災害時などに災害や避難の情報を伝えるための重要な情報伝達手段の1つとして運用しております。したがいまして本市では現在、テレビ、ラジオ、防災行政無線テレフォンサービスなど様々な通信手段を通じて住民の皆様に情報を発信しており、地域の皆様においてはそれらの中から適切な媒体を選択するとともに、地域内での声かけなどもしていただき、もしもの場合に備えていただきたいと考えております。

意 見 1